

犬田布岳

ここは、伊仙町内で最も高い山である犬田布岳（417m）の山頂を通るルートの起点です。山頂までの上りと山向こうへの下りは、合わせて約 4km です。登山道はところどころにきつい箇所があり、また、周囲の景観を眺めるポイントはほとんどありません。しかし、この道をハイキングする人は、イタジイ（*Castanopsis sieboldii*）やアラカシ（*Quercus glauca*）の一種であるアマミアラカシなどの常緑広葉樹が繁る亜熱帯林を体験することができます。この森には、野生ランの一種であるトクノシマエビネをはじめ、多くの希少種や固有種の動植物が分布しています。珍しいアマミノクロウサギは、島のこの地域から姿を消したとわれていましたが、最近、自動カメラで撮影された写真に、山の中腹にいるこのウサギの姿がとらえられました。

古代の岩面彫刻

山頂付近にある数個の岩には、弓矢の岩面彫刻が残されています。この彫刻の年代測定は行われていませんが、島内の他の地域における発掘調査では、縄文時代（紀元前 1 万年～紀元前 300 年）後期の土器などの遺物が出土しています。この地域は、伊仙町で唯一、奄美大島、西表島および沖縄の一部を含む世界自然遺産の一部として登録されている場所です。

安全なハイキングを

島内の他の自然道を散策する時と同様、この道でも猛毒を持つ蛇「ハブ」にご注意ください。ハイキングの際は、道の草が生い茂っている場所を杖で払い、音を立ててハブに自分がそこにいることを知らせるようにしましょう。この山と自然道の環境保全にご協力ください。